

## 第2章

# ともに育み学びあい 未来に羽ばたくまち （子育て・教育）



秩父キッズパーク

## 政策1 子育ての充実

### 現状と課題

- 子育ての不安や悩みを相談でき、子育て中の方の孤立を防ぐ場所として、子育て支援センターの役割は重要性を増しています。
- 「ファミリー・サポート・センター事業」は、地域のボランティアによるこどもの預かりや見守り等を通じて、子育て家庭が安心して育児できるよう支援するための事業ですが、近年、利用者数が減少しています。
- 児童福祉法に基づき、保育が必要な乳幼児に対して、安全かつ安定した保育を実施できるよう施設を維持していくことが必要です。
- 出産お祝い事業とこども医療費助成事業を実施し、子育て世帯の経済的な負担軽減を図っています。
- 就学援助などにより、就学に必要な費用の負担が困難な保護者の経済的負担の軽減を図っています。また、学校給食費の完全無償化を令和7年度から実施しています。
- 児童数は減少していますが、学童保育室の需要は高い水準で推移しています。また、利用する児童の中で、配慮が必要な児童が増えており、対応に幅広い知識が必要となってきています。

### 現況データ

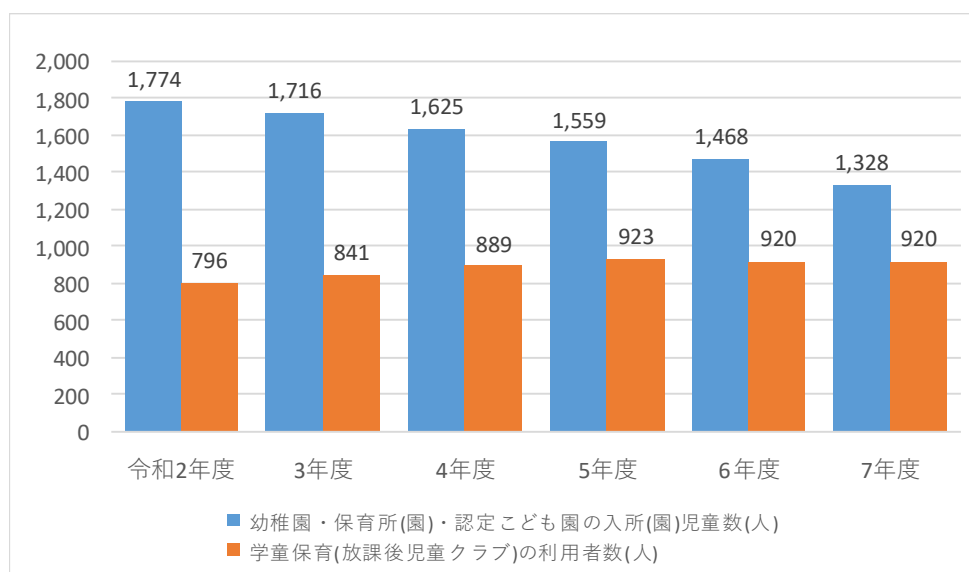


図4 幼稚園・保育所(園)・認定こども園の入所(園)児童数と学童保育(放課後児童クラブ)の利用者数

施策の方向性



### (1)子育て支援体制の整備

- こどもが健やかに成長できる環境と、安心して子育てできる地域づくりを目指します。
- 子育てに関わる関係機関や団体と連携し、課題となっている「ファミリー・サポート・センター事業」の利用者の拡大を図るために、更に周知活動を行い、制度の活性化を図ります。
- 引き続き、子育て世帯の経済的負担の軽減に努めます。

### (2)子育て支援環境の充実

- 地域全体で子育てを支え合えるよう、環境を整備します。
- 児童館においては、乳幼児や児童が安全に遊べる環境と相談体制を整備するため、施設の適切な管理・運営に努めます。
- 公立保育所においては、地域の保育需要に対し適切な保育の提供が継続できるよう、施設の再編も含めて調整していきます。
- 学童保育室においては、配慮が必要な児童に対して、必要な支援ができるよう指導員の確保に努め、受け入れ環境を整備します。

施策の目標値

達成指標	現状実績	R8	R9	R10	R11 目標
子育て支援センターの延べ利用組数	3,809 組 (R6)	3,700 組	3,600 組	3,400 組	3,200 組
ファミリー・サポート・センターの延べ利用回数	316 回 (R6)	300 回	300 回	300 回	300 回

## 政策2 学校教育の充実

### 現状と課題

- 児童・生徒の学力向上と不登校対策が喫緊の課題です。
- 児童・生徒数の減少に伴い、学校施設の統廃合に向けた検討が必要です。
- 調理場の施設設備が老朽化していることから、計画的な設備更新と整備を推進するとともに、少子化に伴う児童・生徒数(食数)減少に合わせ、施設の統廃合の検討を進めていく必要があります。
- GIGAスクール構想に基づき、より一層のICT機器の活用が推進される一方で、当初整備したネットワークを構成する機器の老朽化等の要因により、通信速度が不十分である状況が懸念されます。安定した高速・大容量の通信環境を維持・管理していくための対策が必要です。
- 青少年育成秩父市民会議を中心にあいさつ運動を展開するなど、こどもたちの健全な育成を図っています。

### 現況データ

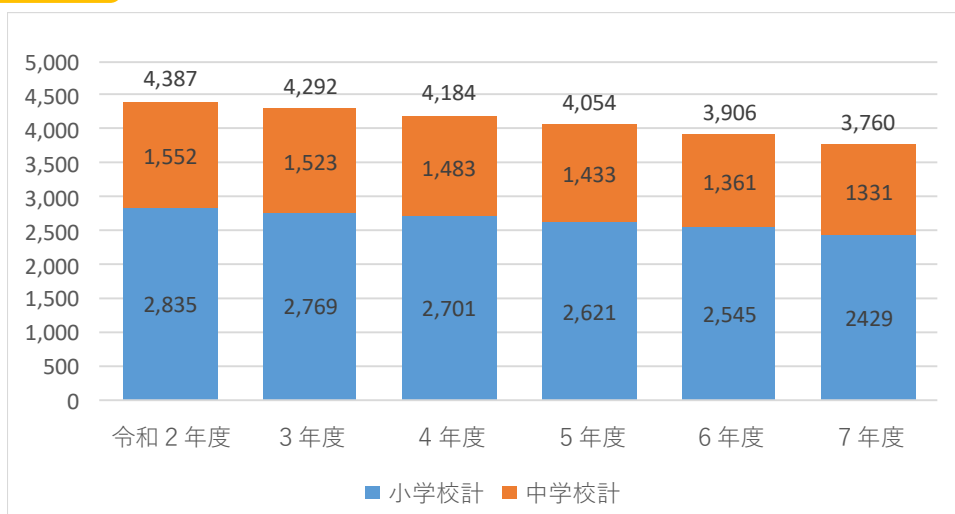


図5 市内小学校児童数・中学校生徒数の推移

### 施策の方向性

#### (1) 教育環境の充実

- 今後の人口動向や地域の実情を踏まえた学校規模や、配置のあり方について検討を進めます。



## 第2章 ともに育み学びあい未来に羽ばたくまち（子育て・教育）

- 調理場の再配置計画を見直し、施設の統廃合に向けた研究及び検討を進めます。
- 教職員の人事・サービスの管理を適正に行い、円滑な学校運営を図っていきます。

### (2)教育内容の充実

- 児童・生徒エージェンシーを重視し、一人一人を伸ばす教育を推進します。
- 児童・生徒が効果的に ICT 機器を活用する授業や英語教育の強化・充実を図ります。
- 教員業務支援員を配置して、教員の負担軽減による余裕を持った学習指導を行うことで、教育環境の向上を図り、児童・生徒の学力向上に繋がります。
- 多様な子どもたちを誰一人取り残すことのないよう、公正に個別最適化された学びを持続的に実現させ、教育活動の充実を図ります。

### (3)特色ある教育の実施

- 学校および関係機関が連携した教育相談体制の充実により、児童・生徒に寄り添ったいじめ・不登校対策と積極的な生徒指導の推進を図ります。
- 地域の自然・人的環境を生かした体験活動・学習を充実させ、秩父のよさを実感できる教育を推進します。
- 教職員同士が授業を参観し合い、教師一人一人の専門性や資質を向上できる研修体制の充実を図ります。

### (4)家庭・地域の教育力の向上

- 学校における働き方改革の推進を目指し、地域と連携・協力しながら家庭教育の充実を図ります。
- 「早寝、早起き、朝ごはん」をキーワードに、リーフレットや給食だより等を通じて、保護者へ児童・生徒の朝食摂取や生活習慣の改善について啓発を推進します。
- 青少年に関わる団体で構成されている青少年育成秩父市民会議と連携し、子どもたちの健全育成を推進します。
- 地域社会と連携しながら部活動の地域展開を着実に進めます。

#### 施策の目標値

達成指標	現状実績	R8	R9	R10	R11 目標
不登校児童・生徒数	86人(R6)	75人	65人	55人	50人

## 政策3 生涯教育の充実

### 現状と課題

- 地区公民館、クラブハウス21、秩父図書館や市内社会体育施設のいずれも老朽化が進んでおり、修繕等に係る費用が増大しています。中長期的な計画に基づいた保全・長寿命化と利用状況等に応じた施設の統廃合が必要な状況です。
- 公民館講座の参加者、スポーツ施設の利用者はともに減少傾向です。また、ちちぶ芸術祭に参加するイベントや市民オーケストラの団員も減少している状況です。
- 文化財は、地域の少子高齢化や人口減少等の影響で、その保存・継承が危機的状況にあります。

### 現況データ

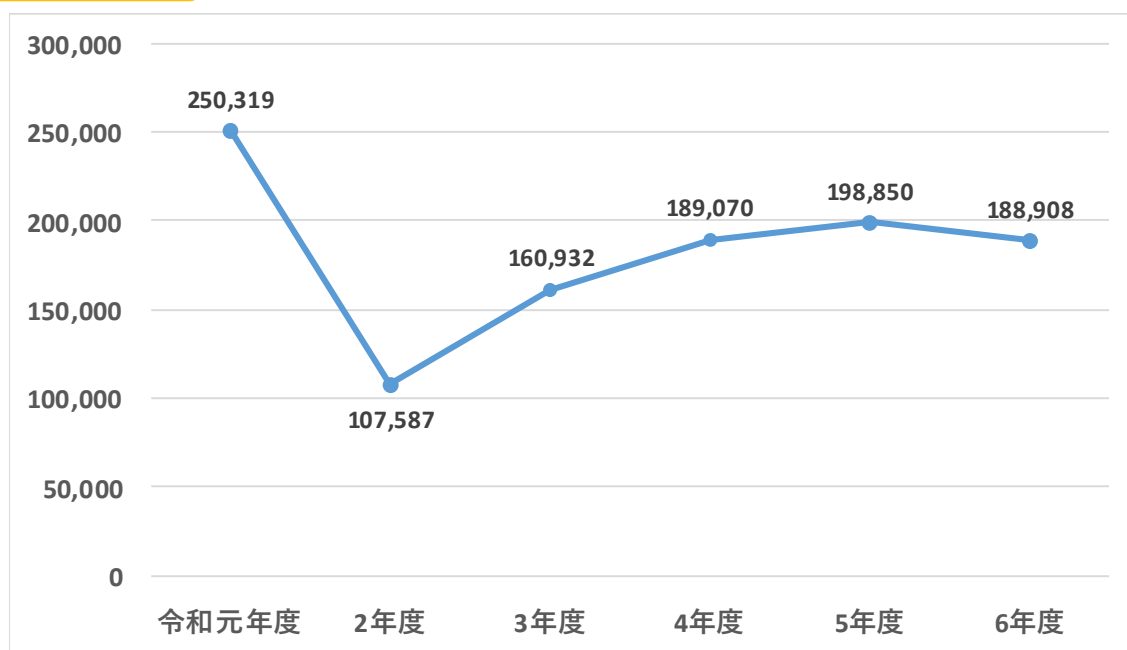


図6 秩父市公民館年間利用者数の推移

### 施策の方向性

#### (1)生涯学習の充実

- ・市民ニーズをとらえた魅力ある講座を開講します。
- ・地区公民館施設のこまめな点検と修繕に努めます。



・若い世代の利用を増やし、持続的な学習環境を提供します。

## (2) 歴史文化の保存・活用

- 『秩父市文化財保存活用地域計画』に則して必要な対応を行い、文化財の環境整備を進めます。
- 文化財の管理状況の把握や民俗文化財の後継者養成の推進など、その保存・継承に努めます。
- 文化財や歴史・文化・自然について積極的に情報を発信するなど、普及啓発を推進します。

## (3) 芸術文化・スポーツの振興

- 芸術文化創造事業は、SNSなどを活用した情報発信を強化し、芸術文化に触れる機会を作ります。
- 秩父宮記念市民会館では、市民ニーズに応えるよう様々なジャンルのプログラムを提供していきます。
- 利用者と協働でスポーツ施設管理を行うことや、段階的に利用者負担をお願いすることで、持続的にスポーツ活動ができる環境を維持します。
- 地域クラブ活動の整備を推進することで、地域住民を対象とした地域スポーツ・文化芸術活動全体を振興する契機とします。

### 施策の目標値

達成指標	現状実績	R8	R9	R10	R11 目標
公民館利用者数	188,908人 (R6)	188,000人	187,000人	186,000人	185,000人
図書館の利用者数	107,021人 (R6)	108,000人	108,000人	108,000人	108,000人
普及講座等開催回数	26件 (~R6)	28件	30件	32件	35件
地域文化財の映像記録件数	13件 (~R6)	15件	16件	17件	18件
秩父宮記念市民会館自主事業入場者率	91% (R6)	82%	82%	82%	82%
スポーツ施設利用者数	445,409人 (R6)	445,500人	445,700人	445,900人	446,000人

## 第2章 ともに育み学びあい未来に羽ばたくまち（子育て・教育）